



江府町立図書館の本棚 「こんな本あります！」

監修：江府町立図書館館長 宇田川 恵理

こんにちは！江府町立図書館の宇田川です。江府町立図書館の本棚にある、ちょっと気になる「こんな本」を、紹介していきたいと思っています！



『昭和の暮らしと道具図鑑 衣食住から年中行事まで』 昭和の暮らし博物館館長 小泉和子編著（河出書房新社）

この図鑑は、東京都大田区「昭和の暮らし博物館」として公開されている小泉家住宅の建物や、生活用品を紹介したものです。小泉家住宅は昭和26年に建てられており、戦後急激に生活様式が変化する以前の、一般家庭の生活の様子がわかる内容となっています。

家の外観から始まり、各部屋の構造や調度品、使われている道具にいたるまで、豊富な写真と細かな説明が書かれており、思わず見入ってしまいました。長かった昭和という時代は、明治・大正の和風が主であった暮らしに、洋風な暮らしが普及し、庶民の暮らしが大きく変化した時代でした。私の子供時代をとってみても、家には冷蔵庫どころか電話もありませんでした。この本を見ていると、当時の家の様子や、母や祖母が家事をしていた光景などがよみがえってきます。小泉家は東京の街中の家ですので、田舎の農家とはいろいろ違う点もありますが、生活の変化が緩やかだった地方では、かなり後まで残っていた生活用具ものっており、なんとも懐かしい気持ちになります。大人にはノスタルジーを誘う1冊であるかもしれないし、若い世代には昔の日本を垣間見ることのできる1冊と言えるのではないのでしょうか。



昔の様子が垣間見れて面白い！

宇田川館長

江府町地域おこし協力隊通信



ふくしま すぐる
福島 優

新甘泉（梨）推進マネージャー
（活動内容：新甘泉の栽培技術の習得、梨園の管理など）

今年の新甘泉の収穫・出荷が終わりました。町外の果樹農家さんや先生から学んだ事を活かして、自分が来からの3年間でも一番いい梨が作れたのではないかなと思います。江府学園の生徒さんにも梨園での摘果や収穫を体験してもらって、少しは取り組みを知ってもらえたかもしれません。とりあえずはこれで一段落・という事はなく、まだまだ稲刈りやそば刈り、そして来年に向けた梨の樹の枝づくりが待っています。



やまだ あさひ
山田 朝陽

奥大山スランド推進コーディネーター
（活動内容：奥大山スランド商品の発掘、開発支援など）

夏が終わり、涼しい季節がやってきました。この季節といったらサイクリングです！秋に入ってからサイクリングのイベントが盛り沢山で、先日も江府町内でEバイクの乗車体験会を行いました！涼しいため、どんな山道でも清々しい気持ちで走れました。是非、皆さんもサイクリングのイベントに参加してみてください！



あんどう のぞみ
安藤 希

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）

稲が黄金色になりました。夜は、虫の音でにぎやかです。まんまるお月さまを見て、いろんな色や大きさの月があるなあとしみじみと思います。幸運なことに、水引が庭を彩り、私の目を楽しませてくれています。お茶の楽しみが増えました。朝には、鳥のおしゃべりを聞き、楽しい気分になります。恵まれた自然環境に感謝しています。学校勤務にもようやく慣れてきました。校内の蔵書に詳しくなれるように頑張ります。

